

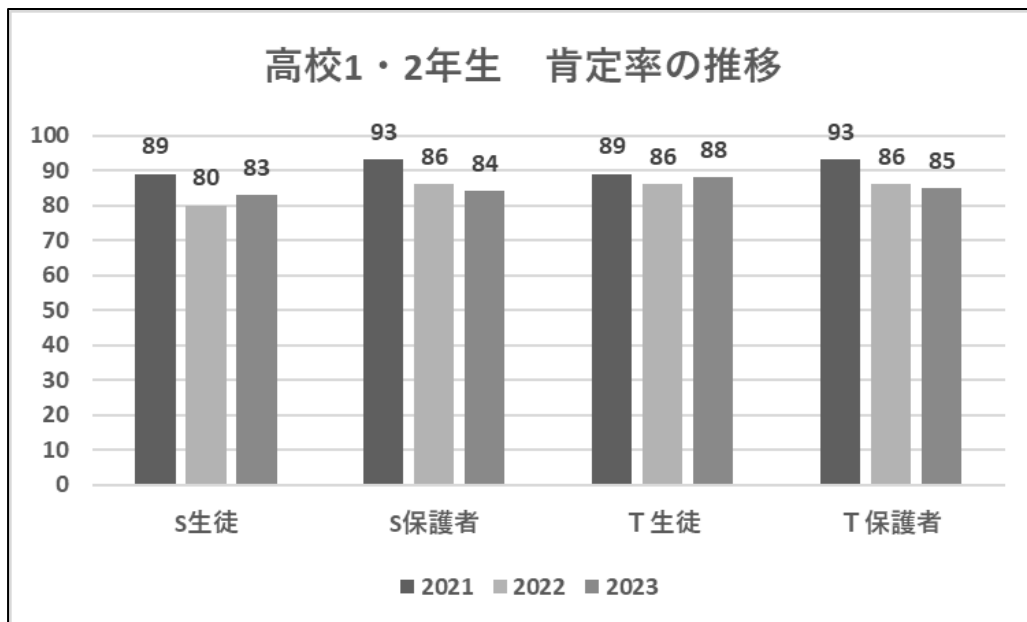
2023年度 学校評価アンケート 高校1・2年生 集計結果		2023年3月30日			
質問項目	・そう思う(4) ・ややそう思う(3) ・あまりそう思わない(2) ・そう思わない(1) 肯定率: (4)・(3)の和 / (4)～(1)の和	肯定率			
		高校生		保護者	
		S	T	S	T
1	本校に入学してよかったと思っていますか。	83%	92%	93%	93%
2	本校生であることに自信と誇りを持っていますか。	69%	81%	76%	84%
3	自分の目標や目的意識を持って学校生活を送っていますか。	82%	86%	75%	81%
4	挨拶・服装・時間等、ルールやマナーを守れていますか。	92%	95%	91%	90%
5	授業内容を理解できていますか。	75%	81%	68%	71%
6	課題(宿題)等の難易度は適当ですか。	73%	91%	86%	82%
7	生徒の能力・個性に応じた適切な指導が行われていますか。	78%	83%	80%	83%
8	部活動は活発で、活動内容も充実していますか。	86%	90%	80%	85%
9	様々な活動を通して、達成感を得たり仲間意識などが高まったりしていますか。	85%	89%	85%	84%
10	キャリア教育(Sコースについてはキャリア・フロンティア)の内容は充実していますか。	90%	91%	85%	85%
11	生徒一人ひとりの人権に配慮した適切な指導が行われていますか。	83%	85%	87%	85%
12	生徒面接やスクールカウンセリング等、心身の健康を維持するための支援が適切に行われていますか。	87%	90%	84%	84%
13	本校の教育環境(施設・設備面等)は、充実していますか。	98%	94%	93%	95%
14	本校において、良好な人間関係を築けていますか。	89%	94%	92%	91%
15	「考え流を学ぶ」に基づいた教育が、日々実践されていると思いますか。	81%	86%	81%	82%
16	教育目標や教育方針等について、教職員の共通理解・意思統一がされていますか。	72%	86%	82%	81%
17	各学年・部・教科等の情報共有と教職員の協働体制が確立し、組織としてうまく機能していますか。	81%	91%	81%	79%
18	自分の進路を実現するための体制(教育課程・少人数授業・習熟度別授業・補習体制等)が整っていますか。	91%	92%	82%	84%
19	本校の学力向上に向けた様々な取り組みが、進路実績等の成果につながっていますか。	82%	91%	84%	84%
20	教職員が学ぶ姿勢を示し、授業力の改善に努めていると思いますか。	80%	84%	87%	83%
21	本校の学校行事は、適切な内容で充実していますか。	75%	87%	90%	90%
22	生徒・教員相互の信頼関係を大切にした教育や指導が行われていますか。	87%	88%	87%	84%
23	クラスや学校での様子などを、家庭で保護者に知らせていますか。	76%	85%	76%	78%
24	学校や学習塾への訪問・各種説明会・オープンスクール等、本校の広報活動は計画的かつ効果的に行われていますか。	90%	92%	93%	94%
肯定率・平均値の平均		82%	88%	84%	85%

2023年度高校1・2年生（Sコース・Tコース）総括

1. 生徒・保護者の過去3年間（2021年～2023年）の全質問項目の肯定率（それぞれの質問に対してそう思う、ややそう思うと回答した割合）の平均（％）の推移（数字は左から2021年、2022年、2023年のデータ）

Sコース生徒：89・80・83 Sコース保護者：93・86・84

Tコース生徒：89・86・88 Tコース保護者：93・86・85



*この調査においては、肯定率80%以上は高い評価であると判断する。

*2022年度は、前年に比べて、すべてのコースの生徒・保護者の肯定率が低下した（低下の要因については、前年度の総括で分析している）。

*2023年度は、Sコース・Tコースとも生徒の肯定率は上昇しているが、保護者の肯定率は、ほぼ横ばい、ないしはわずかながら低下している。

2. 高校1・2年生の質問項目1、5、7、8、19、21の過去3年間（2021年～2023年）の肯定率（％）の推移（数字は左から2021年、2022年、2023年のデータ）

(1)「本校に入学して良かった」 Sコース：89・83・83 Tコース：89・88・92

(5)「授業内容の理解」 Sコース：68・71・75 Tコース：78・75・81

(7)「能力・個性に応じた適切な指導」 Sコース：84・75・78 Tコース：80・82・83

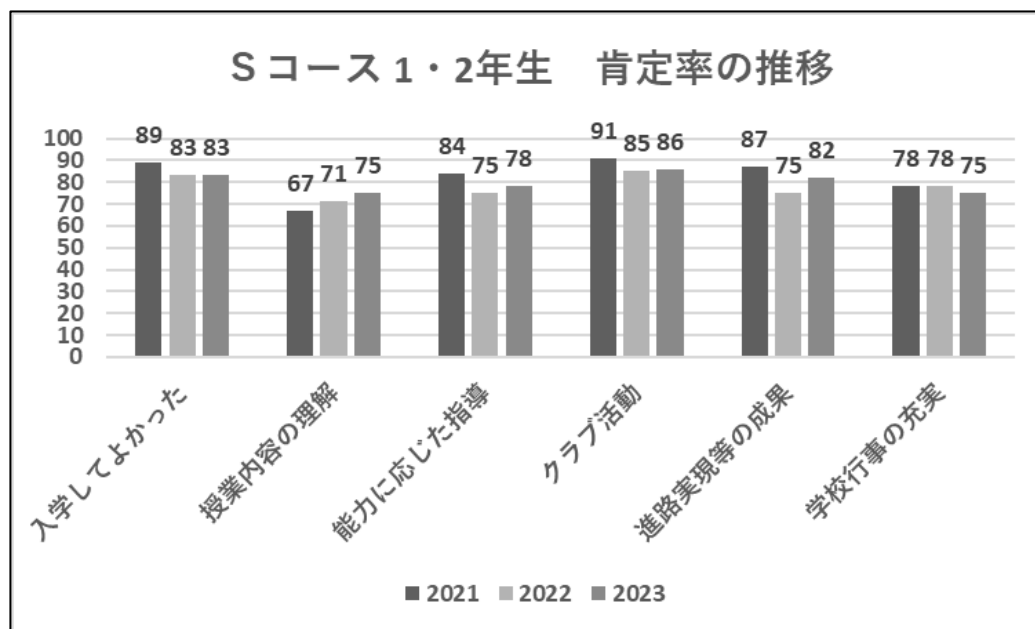
(8)「クラブ活動の満足度」 Sコース：91・85・86 Tコース：86・85・90

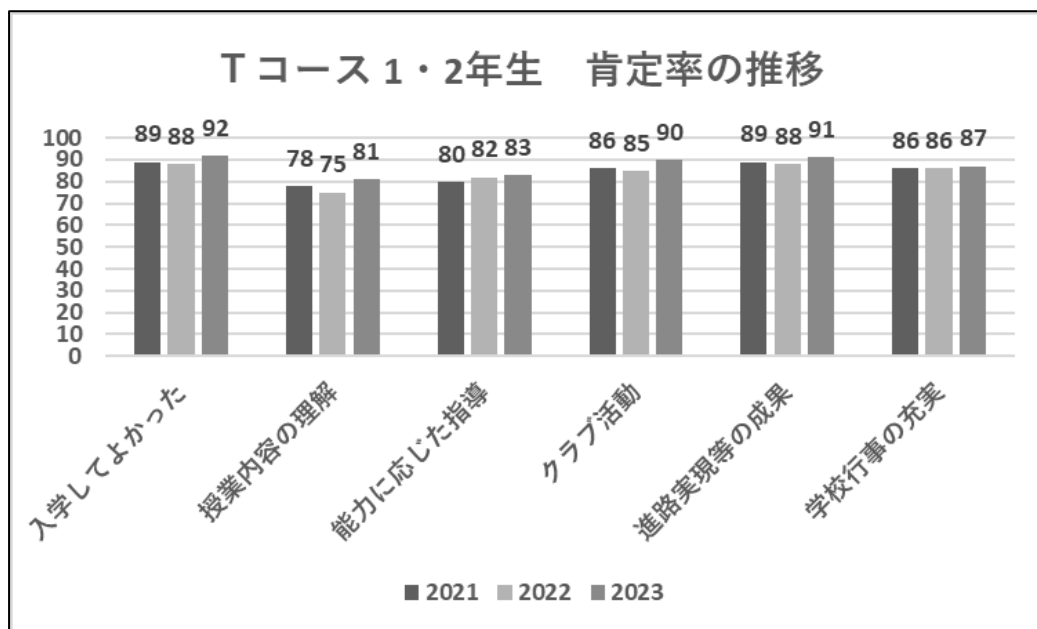
(19)「進路実現等に向けた学力向上」 Sコース：87・75・82 Tコース：89・88・91

(21)「学校行事の充実」 Sコース：78・78・75 Tコース：86・86・87

*質問項目（5）「授業内容の理解」の肯定率は、両コースとも上昇し、特にTコースの上昇幅が大きい。教員が授業評価アンケートなどをもとに、生徒の興味・関心を喚起するため、ICT機器やワイドプロジェクターの活用法を研究し、授業改善に努めた成果が肯定率の上昇につながっている。いっぽうSコースについては、3年間で見ると肯定率が大きく上昇しているが、まだ4分の1は授業内容が理解できていない状況である。教員が小テストなどを通じて日常的な授業の理解度を確認しながら、さらなる授業改善を図っていく必要がある。

- *質問項目（7）「能力・個性に応じた適切な指導」の肯定率は、Sコースで上昇している。本年度導入した放課後学習会は、うまく機能したとはいえない状況であったが、放課後学習における教員の献身的な取り組みが、肯定率の上昇につながっている。今後は、教員の個人的な力量に頼ることなく、従来のような充実した放課後学習を実現できるよう、進路指導部主導のもとで委託する業者を見直し、生徒個々のニーズに合った放課後学習会の構築をめざしたい。
- *質問項目（8）「クラブ活動の満足度」については、Tコースで大幅に上昇し、満足度としてはたいへん高い数値を示している。これは本年も多くのクラブが全国大会出場を果たし、地域活性部が多くの賞を受けるなど、クラブ活動で大きな成果を収めたことに加えて、施設・設備の改修工事をはじめ、練習環境の整備に努めてきたことの現れである。これからも生徒主体のクラブ運営を中心にすえ、いっそうのクラブ活動の充実を図っていきたい。
- *質問項目（19）「進路実現等に向けた学力向上」の肯定率は、昨年度大きく低下したSコースの肯定率が回復傾向にある。本年度は校内予備校で著名な外部講師を招聘するなど、平日や長期休暇中の補習・講習の強化に努め、過去最高の進路結果を収めることができた。今後はより多くの生徒が自分の第一志望を実現できるよう、進路指導部主導のもとで、これまで以上に個々の学力に応じた補習・校内予備校・放課後学習会のあり方を構築するとともに、日頃の授業改善に向けた研修体制を整備していきたい。
- *質問項目（18）「学校行事の充実」の肯定率はSコースで低下し、4分の1の生徒が行事に満足していない。Sコースの生徒にとって、文化祭・体育祭などの学校行事の内容が満足できるものなのかをいま一度検証し、生徒の主体性を活かしつつ、すべての生徒が楽しみ、かつ学びのある行事が実現できるように改善していきたい。





3. 肯定率が70%以下だった質問項目（高校1・2年生徒・保護者別 今年度←昨年度）

Sコース生徒は1項目、Tコース生徒は0項目。

Sコース保護者は1項目（項目5）、Tコース保護者0項目。

（2）「本校生であることの誇り」

Sコース生徒 69%←64%

（5）「授業内容の理解」

Sコース保護者 68%←74%

*「本校生であることの誇り」について、Sコースの生徒の肯定率は大幅に上昇したが、満足度が高いとはいえない。すべての生徒が活力ある学校生活を送り、本校生としての誇りを持てるよう、生徒個々の有用感を高めていくための取り組みを工夫していく必要がある。また「授業内容の理解」については、Sコースの保護者の肯定率が大幅に低下した。保護者に生徒たちの成績の伸びが実感してもらえるよう、授業評価アンケートをもとにした授業の改善を図ることに加えて、学外評価委員の提言にもある「塾や予備校の力を借りて、教員の指導力研修や、生徒の学力向上に繋げる施策」なども考えていく必要がある。

4. 総括コメント

本年度の「生徒による授業評価アンケート」は、専任教員を対象に1学期末と2学期末に実施した。その結果をふまえて実施した「授業評価アンケートに対する教員の意識と実態についての調査」をみると、ほとんどの教員が、「今回の授業評価アンケートの結果は、自らの授業改善に役立つと思う」と前向きに捉えている。昨年までと同様に「生徒の関心意欲を高めるための授業改善の必要」を課題にあげた教員が最も多かったが、共通テストでより求められるようになった「思考力の育成」を課題にあげた教員も多数あった。進学実績のよりいっそうの向上のためには、共通テストの高得点を増やすことが不可欠である。その目的達成にむけて、「授業評価アンケート」をもとにICT機器のさらなる活用法を研究し、すべての生徒の興味関心を喚起しながら、思考力を中心

大学進学については、高校入学生からお茶の水女子大学・岡山大学（3名）・兵庫県立大学をはじめとした国公立大学に32名（防衛大学校を含む）、中高一貫コースをあわせると64名が合格し、過去最高の実績を収めることができた。また私立大学については、東洋大学に8名、学習院大学・明治大学（3名）・立教大学をはじめとした関東圏の大学をはじめ、関関同立に23名（中高一貫コースをあわせると49名）、産近甲龍に75名（中高一貫コースをあわせると121名）と、難関大学にも多くの合格者を出すことができた。さらに就職については、学校推薦による内定率100%を達成し、ほかに専門学校へ進学する生徒を含め、総進・体育コースの生徒

は、各自の希望に応じて多様な進路実現を果たしている。本校の生徒・保護者の大学進学希望数は年ごとに増えてきており、学力向上と進路実現に向け、本年度は放課後学習会を本格的に運用することに加えて、校内予備校を強化するなど取り組みを強化した。しかし放課後学習会は十分に機能したとはいえなかったため、新たな取り組みを検討し、すみやかに導入していく必要がある。こうした進路指導体制について、学外評価委員からは、国公立大学の合格者数を中高一貫コースとしてさらに増やすために、「進路指導部主導の持続可能で生徒一人ひとりの目標を実現できる進路指導体制に転換すべきである」という提言をいただいている。次年度は、これまで国公立大学推薦プロジェクトなどを通じて蓄積されてきた総合型・学校推薦型で国公立大学に合格させるためのノウハウを生かしながら、授業改善とともに校内予備校・放課後学習会を含めた補習・講習などの進路指導体制のいっそうの充実を図ることで、一般入試に向けての学力向上をめざし、国公立大学合格者の大幅増加をめざしたい。

クラブ活動では空手道部・剣道部・柔道部・卓球部・囲碁将棋部が全国大会に出場し、地域活性部は「地方創生☆政策アイデアコンテスト」の近畿経済産業局長賞など数多くの賞を受賞するなど、大きな成果をおさめた。これら以外にも、本校のここ数年のさまざまな取り組みが評価され、2024年度高校前期入試の志願者は3992名を集め、4月には62期生として323名＋一貫69名の計392名が入学予定である。今年度の「授業評価アンケート」と「学校評価アンケート」の結果を全教職員が謙虚に受け止め、日々の授業の充実と改善に努めながら、東洋大学附属姫路高等学校のさらなる進化と飛躍をめざして取り組んでいきたい。

5. 2024年に向けた課題

- (1) 本校の教育方針に基づき、各学年・コースの教育方針と年度目標に加えて数値目標を明確にする。
- (2) 学校評価における要請に加え、教員の授業力向上をめざし、授業改善のための研修体制を確立する。
- (3) 共通テスト対策、私立・国公立二次試験対策など、進路指導部主導で校内予備校や補習・講習を強化し、生徒個々に応じた放課後学習会を構築する。
- (4) 高校3学年について、Sコース・Tコースともに新たに作成したシラバスにそった教育を実践する。高校3年生については、生徒の個々の進路実現を見通したシラバスになっているのかという観点から、シラバスの検証をすすめる。
- (5) すべての生徒が楽しめ、学びのある行事になっているのかという観点をふまえ、文化祭・体育祭等の学校行事の見直しをすすめる。